

特別会合「小原秀雄先生追悼企画 - 自己家畜化論の継承・発展のために」

◆趣意

「自己家畜化論」論研究会は本学会関連の独立した小研究会として 2013 年の夏に活動を開始した。

その目的は、小原秀雄先生の「自己家畜化論」を継承・発展させることにある。

この度（今年 4 月 21 日）の小原秀雄先生ご逝去の訃報を受け、多年にわたり総合人間学をけん引された先生への敬意と感謝の意を表すとともに、「自己家畜化論」研究と総合人間学の更なる展開への想いを込めて、特別会合を開催する。

◆期日（オンライン開催）

2022 年 8 月 28 日（日）13:30 - 16:00（10 分間の休憩をはさむ全 2 時間半）

> 参加申し込み（以下、記入申し込み後、開催前日にアクセス先を案内します）

[参加申し込み先アドレス](#)

https://docs.google.com/forms/d/12AUMwb6v5WpH_zwBfddtW7rjunV3KRB_Q0kYgYZ_Lps/edit

◆内容

◇報告（13:30～15:10／各 20 分・簡単な質疑応答を含む）

- ① 小原由美子氏：小原秀雄の思い出：東アフリカの国立公園と野生動物
- ② 岩田好宏氏：人間における「主体－環境」関係について
- ③ 長谷場健氏：小原自己家畜化論の特徴と総合人間学
- ④ 上柿崇英氏：「自己家畜化論」が照射する総合人間学的フレームワーク（仮）
- ⑤ 穴見慎一氏：総合人間学における「人間（ヒト）」の視点の可能性

休憩（15:10～15:20）

◇座談会（15:20～16:00）

※報告者以外の参加者からの発言に報告者が応答しつつ、全体で議論する。

主催：「自己家畜化論」研究会・研究談話委員会共催

問い合わせ：kenkyudanwainkai@gmail.com

~~~~~

<参考・関連情報>

・総合人間学 KW 集・記述モデル（事例 2 「自己家畜化論」）

<http://synthetic-anthropology.org/blog/wp-content/uploads/2021/08/KW2021.pdf>

・『自己家畜化論』から『総合人間学的本性論・文明論』へ（上柿崇英）

<http://synthetic-anthropology.org/data/2013uegaki.pdf>